



“全世代・全対象型地域包括支援体制の構築に向けて” ～ 複合的かつ多様な課題に社会福祉士としてどう向き合う ～

◆福祉ニーズは多様化・複雑化しています

『要介護の親と無職でひきこもり状態にある子ども』、『障害者手帳を取得していないが、障がいが疑われる人』、『がん患者の親と障がいの子どもが同居』、『世帯で支援を拒否している孤立化した家族』、『ゴミが散乱した家で生活し続ける人』 などの支援

◆ニーズに応じた適切な支援体制が求められています

多様化・複雑化した福祉ニーズの中で、すべての人が年齢や状況を問わず、その一人ひとりのニーズに応じた適切な支援を受けられる「全世代・全対象型地域包括支援体制」の構築

◆今、“社会福祉士”としてどう向き合うか、意義と役割を問い、学びます

相談援助の専門職である“社会福祉士”として「複合的かつ多様な課題を抱えているが故に支援につなげていない」課題にどう向き合うべきか。そして、地域に必要な社会資源をどのように創出していくべきか。社会福祉士の立場を踏まえ、その意義と責務を共に学ぶ

【日 時】 平成 29 年 9 月 1 日（金） 19 時 00 分～21 時 00 分

【場 所】 長野市ふれあい福祉センター 5 階ホール

（長野市大字鶴賀緑町 1714 番地 5）

【内 容】 第一部 講 義

『複合的かつ多様化するニーズにどう向き合う（仮）』

～社会福祉士に求められる役割とは～

第二部 演 習（事例検討）

『高齢介護者とひきこもりの息子の事例（仮）』

【定 員】 100 人（申込順） ※参加費無料

【申 込】 申込書に必要事項を記入し、8 月 24 日（木）までに事務局へ FAX
（026-266-033）又はメール（info@nacsw.jp）で申込

講 師：田村 満子さん（社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員）

日本社会福祉士会元副会長

大阪社会福祉士会相談役

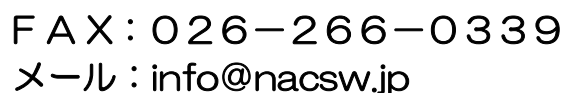
実践から
社会福祉士
の役割を
伝えます！

- ・有限会社たむらソーシャルネット代表
- ・大阪後見支援センター専門
- ・大阪府市民後見人企画調整員
- ・大阪市成年後見支援センター専門相談員
- ・大阪地域包括ケア研究会（厚労省） 他

～ 二度とないチャンス！長野の地で。9月1日、きっと気づきがある ～



長野県社会福祉士会事務局 電話：026-266-0294



(全世代・全対象型地域包括支援体制の構築に向けて)

長野県社会福祉士会あて

ふりがな		地 区
氏 名		あてはまるものに ☒ をしてください。
連 絡 先		☐ 北信地区
所 属 等		☐ 東信地区
		☐ 中信地区
		☐ 南信地区
職 域	あてはまるものに ☒ をしてください。 ☐ 高齢福祉分野 ☐ 障がい福祉分野 ☐ 児童福祉分野 ☐ 生活困窮者支援分野 ☐ 成年後見等支援分野 ☐ 医療分野 ☐ その他（ ）	
その他	社会福祉士として日ごろ思っていることや悩みなどがあればご記入ください。	

※定員を超えた場合のみ、ご連絡をいたします。連絡がない場合は、受付ができたものとして、直接会場にお越しください。